

第7回 プログラミング演習 レポート

前半クラス 16024003

赤堀 冴太郎

提出日：2016 年 12 月 1 日

1 基礎課題 1 Lecture5 演習 1-3

1.1 ソースコード

ソースコード

```
/*****
name e111_2.c
do 文字数を数える
in int 型 1つ char 型配列 1つ
out int 型 1つ
author 16024003
day 2016.11.30
other none
*****/
#include <stdio.h>
int main(void)
{
    char str[11];
    int i;

    printf("10文字以内の文字列を入力してください--->");
    scanf("%s",str);

    while(str[i] !='\0')
    {
        i++ ;
    }

    printf("入力された文字列の長さは%d文字です\n",i);

    return 0;
}
```

1.2 実行結果

実行結果

```
$ ./e111_2
10文字以内の文字列を入力してください--->test
入力された文字列の長さは4文字です
```

1.3 考察

文字列の最後の見えない null 文字を調べることがわかった。

2 基礎課題 2 Lecture5 演習 1-5

2.1 ソースコード

```
ソースコード
/*****
name e111_4
do 入力された文字を逆順に出力
in int 型 1つ char 型配列 1つ
out char 型配列 1つ
author 16024003
day 2016.11.30
other none
*****/
#include <stdio.h>
#include <string.h>
int main(void)
{
    char str[11];
    int i;

    printf("10 文字以内の文字を入力してください\n--->");
    scanf("%s",str);
    printf("逆順に出力すると\n");

    for(i = strlen(str)-1; i >= 0; i--)
    {
        printf("%c",str[i]);
    }

    printf("となります\n");

    return 0;
}
```

2.2 実行結果

実行結果

```
$ ./e111_4
10 文字以内の文字を入力してください
--->test
逆順に出力すると
tset となります
```

2.3 考察

for 文を使って終端からアクセスしていくことで逆順に出力できることがわかった

3 感想

配列に文字を入れることで様々な操作ができることがわかった。